

日商簿記1級 とおるゼミ 工業簿記・原価計算(Ⅲ) 改訂二版 直接原価計算・意思決定会計編 (改訂二版第1刷)

弊社の書籍をご利用いただき、有難うございます。

訂正が出ないようにと努力しておりますが以下の通り、誤りが判明致しました。

お手数をおかけして申し訳ございませんが訂正の上、ご利用下さい。

なお、弊社HP[「ネットスクール」検索→「読者の方へ」]にて訂正資料等の最新情報を閲覧・ダウンロードできますので、ご利用下さいませようお願いいたします。

2013.07.19

ページ	訂正箇所	誤	正	備考
問題 1-12	問題7 資料2.	(1)生産・販売データ 月初仕掛品量 月初在庫量 当月投入量 当月生産量 投入量合計 投入量合計 月末仕掛品量 月末在庫量 当月完成品量 当月販売量	(1)生産・販売データ 期首 仕掛品量 期首 在庫量 当期 投入量 当期 生産量 投入量合計 投入量合計 期末 仕掛品量 期末 在庫量 当期 完成品量 当期 販売量	2013.07.19
解答・解説 1-15	1. 生産データと販売データの ボックス図	(仕掛品のボックス図) 月初仕掛品量 当月完成品量 当月投入量 月末仕掛品量 (完成品のボックス図) 月初在庫量 当月販売量 当月生産量 月末在庫量	(仕掛品のボックス図) 期首 仕掛品量 当期 完成品量 当期 投入量 期末 仕掛品量 (完成品のボックス図) 期首 在庫量 当期 販売量 当期 生産量 期末 在庫量	2013.07.19
問題 1-13	問題8 問題資料	△事業部損益計算書 ×1年4月～×2年2月 (単位:千円) 売上高 1,125,000 売上原価 期首製品有高 80,000 当期製品製造原価 760,000 合計 840,000 2月末製品有高 90,000 差引 750,000 原価差異 0 750,000 売上総利益 375,000 販売費及び一般管理費 変動費 56,250 固定費 121,000 177,250 営業利益 197,750	△事業部損益計算書 ×1年4月～×2年2月 (単位:千円) 売上高 1,125,000 売上原価 期首製品有高 80,000 当期製品製造原価 760,000 合計 840,000 2月末製品有高 90,000 差引 750,000 原価差異 5,500 755,500 売上総利益 369,500 販売費及び一般管理費 変動費 56,250 固定費 121,000 177,250 営業利益 192,250	2011.03.10
問題 5-10	合格体験記②	(P.222へつづく)	(P.6-18へつづく)	2011.02.17
問題 6-13	問題7 問1.	～端数が生じる場合には、少数点以下第1位で四捨五入すること。	～端数が生じる場合には、 小 少数点以下第1位で四捨五入すること。	2011.02.17

問題 7-12	問題4 解答・解説へのリンク	→解答・解説 P.7-4	→解答・解説 P.7- 3	2011.02.17
問題 8-5	問題1 問1 ■資料1■	直接工の賃率は1,200円/時、製造間接費は6,450,000円発生している。なお、製造間接費は直接作業時間を配賦基準として予定配賦している。	直接工の賃率は1,200円/時、製造間接費 予算 は6,450,000円 である 。なお、製造間接費は直接作業時間を配賦基準として 配賦している 。	2011.02.17
解答・解説 4-20	問題9 解説0.	0. 差異分析の体系(本門の場合)と貢献利益差異の分析図	0. 差異分析の体系(本 問 の場合)と貢献利益差異の分析図	2011.02.17
解答・解説 4-22~23	3. (1)卸のボックスの左下 3. (2)東京店のボックスの左下 3. (3)福岡店のボックスの左下	実際 @750円 実際@1,200円 実際@1,200円	予算 @750円 予算 @1,200円 予算 @1,200円	2011.02.17
解答・解説 7-17	問題14 解答	X案の正味現在価値は、△6,859,376千円、 Y案の正味現在価値は△6,793,758千円である。	X案の正味現在価値は、△6,859,376千円、 Y案の正味現在価値は△6,793,758千円である。 ※右側の“,”(カンマ)を“.”(小数点)に修正して下さい。	2011.02.17
解答・解説 8-1	問題1 解説	～製造間接費を伝統的な全部原価計によって配賦する場合と、～	～製造間接費を伝統的な全部原価計 算 によって配賦する場合と、～	2011.02.17